

第2部 市町村税の徴収実績

※「市町村税の徴収実績に関する調」より

I 平成18年度市町村税収入済額の概要

1 平成18年度の市町村税収入済額（国民健康保険税（料）を除く。）は、3,071億7百万円（前年度3,064億32百万円）と前年度に比べ6億75百万円の増となり、前年度を0.2%上回った。これは、固定資産税、都市計画税等の税目で減少したものの、市町村民税、市町村たばこ税等の税目で増加したためである。

2 収入済額を税目別に見ると、構成割合が最も高い固定資産税（構成比45.0%）は、前年度を5.6%下回った。これは、固定資産評価替に伴う家屋分の減収及び地価の下落等による土地評価額の減価や償却資産分の減収によるものである。

構成割合が固定資産税に次ぐ市町村民税（構成比41.0%）は、前年度を8.3%上回った。これは主として、平成18年度から適用された定率減税の縮減や老年者控除の廃止等の影響により、所得割において7.8%プラスとなったことによるものである。また、法人の業績好調等を反映して法人税割が11.9%のプラスとなったことも要因として挙げられる。

その他の普通税では、軽自動車税（構成比1.0%、伸び率4.0%）及び市町村たばこ税（構成比5.2%、伸び率2.4%）が前年度を上回った。

目的税については、入湯税（構成比0.2%、伸び率2.0%）、事業所税（構成比1.4%、伸び率0.6%）が前年度を上回り、都市計画税（構成比6.2%、伸び率▲6.5%）が前年度を下回った。

3 徴収率で見ると、県全体では92.3%（前年度92.1%）となり、前年度より0.2ポイント上回った。

市町村別の状況では、前年度の徴収率と同率または上回った市町村数は17団体で、残りの19団体は前年度の徴収率を下回った。前年度の徴収率を上回った市町村は、伸び率順に、川崎町（7.2ポイント）、白石市（2.4ポイント）、涌谷町（1.7ポイント）などで、下回った市町村は大崎市（▲1.4ポイント）、南三陸町（▲1.3ポイント）、大衡村（▲1.2ポイント）などであった。

徴収率が高い市町村は、七ヶ宿町の98.5%（前年度98.6%）、女川町の97.8%（前年度97.9%）、多賀城市の95.9%（前年度95.0%）の順となっており、低い市町村は川崎町の77.8%（前年度70.6%）、蔵王町の79.7%（前年度80.7%）、南三陸町の81.1%（前年度82.4%）の順となっている。

また、県平均（92.3%）と同率または上回った市町村数は15団体であり、下回った市町村数は21団体となった。

主な税目別の徴収率は、市町村民税94.5%（前年度94.0%）、入湯税93.3%（前年度93.0%）、事業所税97.8%（前年度97.4%）、水利地益税98.0%（前年度96.7%）が前年度を上回ったが、固定資産税90.0%（前年度90.3%）、軽自動車税90.8%（前年度91.2%）、特別土地保有税4.4%（前年度6.6%）、都市計画税90.2%（前年度90.5%）はいずれも前年度を下回った。

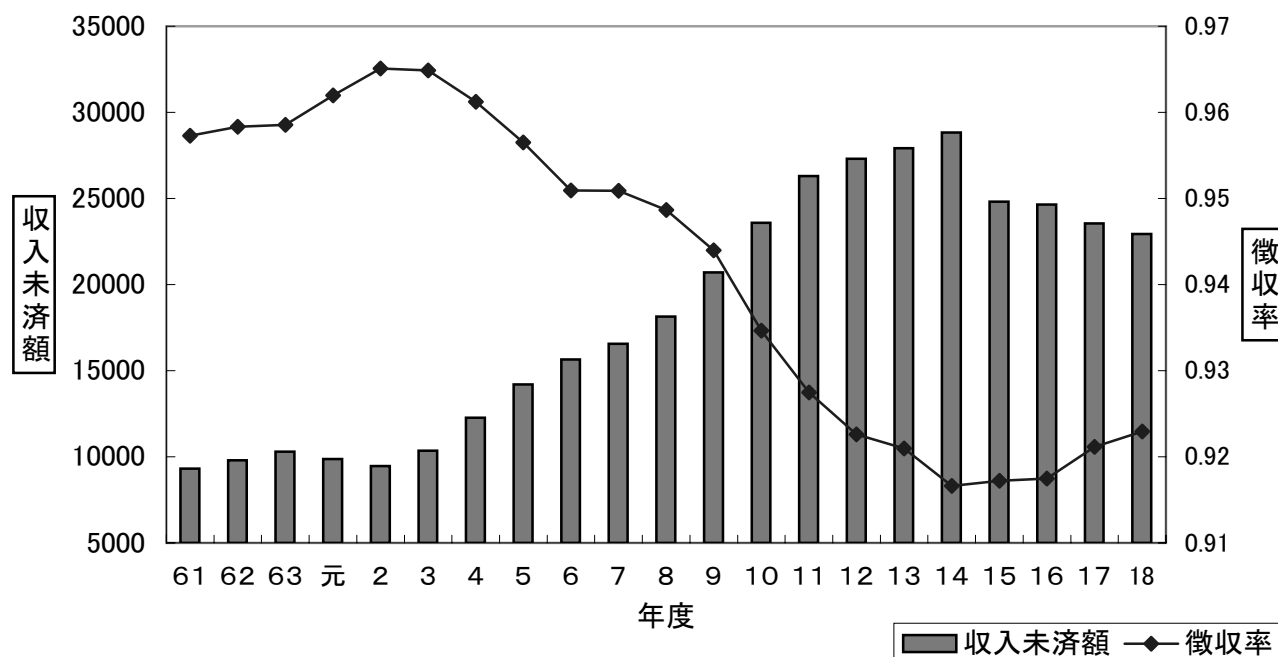
(参考) 年度別市町村税の徴収状況

(単位:千円, %)

年度	調定済額	前年比	収入済額	前年比	収入未済額	前年比	徴収率
61	218,174,903	107.5	208,857,680	107.5	9,317,223	113.9	95.7
62	234,868,252	107.7	225,076,847	107.8	9,791,405	105.1	95.8
63	248,198,462	105.7	237,906,533	105.7	10,291,929	105.1	95.9
元	259,710,584	104.6	249,833,097	105.0	9,877,487	96.0	96.2
2	271,116,836	104.4	261,648,771	104.7	9,468,005	95.9	96.5
3	294,685,074	108.7	284,331,395	108.7	10,353,679	109.4	96.5
4	316,233,499	107.3	303,969,412	106.9	12,264,087	118.5	96.1
5	326,637,547	103.3	312,436,238	102.8	14,201,309	115.8	95.7
6	318,937,282	97.6	303,287,446	97.1	15,649,836	110.2	95.1
7	337,060,571	105.7	320,503,122	105.7	16,557,449	105.8	95.1
8	353,521,292	104.9	335,372,007	104.6	18,149,285	109.6	94.9
9	369,695,063	104.6	348,985,553	104.1	20,709,510	114.1	94.4
10	360,979,765	97.6	337,383,272	96.7	23,596,493	113.9	93.5
11	362,762,137	100.5	336,455,590	99.7	26,306,547	111.5	92.7
12	352,711,086	97.2	325,412,680	96.7	27,298,406	103.8	92.3
13	353,296,355	100.2	325,380,509	100.0	27,915,846	102.3	92.1
14	345,809,604	97.9	316,974,767	97.4	28,834,837	103.3	91.7
15	334,970,439	96.9	307,237,079	96.9	24,819,092	86.1	91.7
16	331,453,201	98.9	304,097,575	99.0	24,648,106	99.3	91.7
17	332,657,421	100.4	306,432,437	100.8	23,559,306	95.6	92.1
18	332,751,741	100.0	307,107,272	100.2	22,937,088	97.4	92.3

(単位:百万円)

収入未済額と徴収率の推移



※ 平成15年度以降の「収入未済額」が激減しているのは、算出方法を見直したことによるもの。

平成14年度まで:「収入未済額」=「調定済額」-「収入済額」

平成15年度から:「収入未済額」=「調定済額」-「収入済額」+「還付未済額」-「不納欠損額」